

性教育講話を実施しました

実施日 令和2年7月29日（水）
講師 まき助産院 川島真希氏
対象 全学年（2クラス以外はZOOMを利用し、各教室で聴講）



「みんな違って当たり前。」「色んな人がいていい。」というお話から講演は始まりました。そして、「今まで気にしていたことが気にならなくなった。」と、この言葉に安心感を抱いたという感想文が多くありました。

また、男女別の性の悩みや妊娠、性感染症、デートDV などのお話では、多くの生徒が自分のこととして捉え、現在や将来の行動や考え方のあり方を考えていました。

講演の終盤での「何でも話せる信頼できる人を3人見つけよう」「毎日がんばって生きている自分を認めてあげよう」などのメッセージは生徒の心に響いた様子で、たくさんの感想文の中に記されておりました。

川島助産師の講演を通して、尊重しあえる人間関係づくりの大切さへの理解がより深まったように思います。



ZOOMでの画像を通して聴講する生徒

～生徒たちの感想文より～

自分の体の事くらい、自分が分かっていると思っていたけれど、意外と知らないことが多いと分かった。

人と比べて自分の方がダメな部分があると落ち込んでしまうことがあるけど、「自分は自分だ」という気持ちを持つことができた。

男性の性の悩みを聞いて、とても共感できるものがあり、同じ悩みを持つ人がたくさんいるのだと分かった。

どんなに相手のことが好きでも、自分と相手の将来をきちんと考えて行動していきたい。

自分が嫌だと思うことは「NO」と言える力をつけること、「NO」と言ってくれる人がいること。助けを求める勇気と行動力が大切だと分かった。

改めて女性の人は大変なんだなと思った。命を産むというのは命がけであり、改めて母に感謝しなければならなかった。